

令和5年度議員と語る会 質疑提言等要約一覧

岩泉地区：1月29日開催 (No.1)

No.	質問・提言等	その場の回答等	語る会終了後の対応 (回答)
1	語る会の内容を、全地区の報告を正確に的確に省くことなくやってもらいたい。	漏れなく整理し、対応状況を追跡できるような形でお伝えしていく。(個々の議員、常任委員会で対応するかなど含め。)	
2	アンケート作成は議員か、事務局か。提案の報酬・定数に導きたいような設問である。	議会で作成。特にこっちに導きたいという意図はない。	
3	議員としての姿勢、県知事選での対応。町民のことを本当に思っているか。 年4回定例会。議員個人の通信で活動がわかる。 語る会は、対面式では意見を述べられない。車座で膝を交えて、議員から町民に投げかけ一体となって考えることが大事では。回答不要。	議員それぞれがいろんな思いを持って聞いた。これからの活動を見ていただいて、ご提言が非常によかったと思えるような活動をしていきたい。	
4	初めての参加。岩泉町の問題点、課題を議員全員が一言で。	各議員が一言ずつ回答。	
5	起業に際し商工会の対応。全然動いてくれない。岩泉町には魅力あり住み続けたいが、団体等あまり積極的でない印象。	大変申し訳ないと感じる。起業をいかに応援していくか。担当課を通じながら状況確認する。	提言済みです。
6	地域おこし協力隊の任期終了後にちゃんと暮らしていけるかが最大の課題。行動をお願いします。	とても大事なこと。次の地域おこし協力隊や他市町村へも影響すること。これからも町への関与をお願いします。	任期終了後の定住について担当課へ支援・協力を要請。
7	衛生管理基準が変わり、道の駅の漬物など販売できなくなる。加工場や皆で使える施設などほしい。社会を見て、やる気・元気が出る手助け、意欲を高める応援を。	議会でも一般質問もしており、働きかけてきた。全種類に対応するような施設を作ってもらおうよう働きかけていきたい。	ポンテの夜間利用など提言済み。担当課で研究検討中です。
8	短角牛の加工場を持つとうと思ったとき、農家は日ごろの生産活動で忙しい。誰かと一緒に(一人では限界)やりたい。サポートをいただきたい。 仕入れたくても肉がない状況下、短角牛が和牛切り落として販売されているものがある。ミート工房で毎年買い戻す頭数と同じ分動かせる。仕事として成り立つのでは。	ミート工房の新設は、肥育頭数・農家戸数減り今の頭数では無理と言われている。精肉店での加工を要望。道の駅で生肉を取り扱ってもらえないか考えている。加工について当局に要望していきたい。 追跡しながら協力していきたい。	農林水産課対応済みです。

令和5年度議員と語る会 質疑提言等要約一覧

岩泉地区：1月29日開催 (No.2)

No.	質問・提言等	その場の回答等	語る会終了後の対応 (回答)
9	ジオパーク再認定。宮古遊覧船はまちを売る一つの方法に、色で統一した。岩泉町はドラゴンブルーとほおずきの2色を持つ。今年は辰年、宮古に客船多数。龍泉洞をさらにPRし、誘客進めるべき。	当局と意思疎通をとり、色か行動かなど協議していく。	経済観光交流課に報告・提言済みです。
10	ドローンは法規制があり、飛ばしたくても飛ばせない愛好者がたくさんいる。呼び込んでやるべきでは。	一般質問もした。計画に項目も載っている、町でもやろうとはしているもの。	担当課に要望済みです。
11	クマ対策。趣味のハンターがサービスの的にやっている。議員はどう捉えているか。	保護から指定への動き。生息数を把握するよう提言したが、明解な答弁はない。	国の動向（法改正）を注視。
12	人生をかけてきている地域おこし協力隊に対し、町は責任がある。	一生懸命関わっている。	任期終了後の定住について担当課へ支援・協力を要請。
13	防災士を公費で取得後の動きが見えない。もう少し風化させないよう、引き継ぐ震災伝承があってもいいと思う。（釜石：語り部）	そのとおり。呼びかけしても停滞気味。これを機に。	担当課に提言済みです。
14	ペット条例を考えてほしい。ペットとの避難、多頭飼育への対応（猫の所有者登録など）、ふん尿の公害などの問題がある。町民の意識が低い。	現況の把握をして当局と意見交換したい。	県条例がある。担当課に要望済みです。
15	議員と語る会は、受付で質問の有無を確認し時間配分すべき。制限時間くると、そこでもうできなくなる。	次回以降、改善していく。	

令和5年度議員と語る会 質疑提言等要約一覧

小川地区：1月23日開催(No.1)

No.	質問・提言等	その場の回答等	語る会終了後の対応(回答)
1	アンケートの活用は。議員だけでなく地域も高齢者ばかり。若者を地域参加へ。若者を集めて形式ぶらないで意見を聴いては。	結果を踏まえ施策へ反映させている。地区での語る会のほかに、分野別で実施している。	各地域での努力も必要。各方面へ提言していきます。
2	岩泉ホールディングス(産業開発部)のホームページがメンテナンスされていない(鍵マークない)。問い合わせフォームから問い合わせたが返事なし。顧客対応も疎かでは。	住民サービス、安全性の向上のためにも、町を通じて伝える。	岩泉ホールディングス(株)に申し入れ済みです。
3	クマの駆除をすぐにできる環境に。クマ駆除へ補助金等の増額をして、住民の安全を守ってほしい。 ニホンジカ処分も有効活用できる方法ないか。	捕獲増。対策は防御・捕獲・補償。国ではクマの指定管理鳥獣化を検討。クマ捕獲の報酬見直しも要望している。 ジビエ活用に向け町へ提言している。これからも強力に町に提案していきたい。	国の動向(法改正)を注視。
4	ぴーちゃんねっとと同じ情報を町HPへも掲載してほしい。	担当課へご意見として伝える。	担当課へ提言済みです。
5	役場から正しい情報の発信をしてほしい。例えば、ジビエに対して一言「放射能でダメです」、林道(ハンター)マップ「出せない」。なぜダメか、解決策など正しく出てこない。情報がほしい。	林道マップは行政財産の範囲で作成していれば渡せるかと思う。作業道、資産など内容によって異なる。全般的に問い合わせの際、前後の話無く良い悪いだけの回答だと、その後に探究のしようがない。町当局へ要望事項として伝える。	担当課へ提言済みです。
6	カーボンニュートラル、ゼロカーボン(Jクレジット)について。90%が山林だが災害(水害)を見ると、山の水保有力が落ちていると感じる。木を切るため道路を造ることが原因の一つでは。カーボンをつくらないのもいいが、その前にそれをうまく手を回していく方法がないか。	山の木が成長して年数がたつと、二酸化炭素吸収量がすごく減る。一回切って、もう一度植えるということを山主がしていけば、クレジットを発行できると考える。どんどんすすめるべきと町へ提言している。	対応済みです。
7	固定電話で119番すると宮古に繋がる。広域になるため地区を言っても分からない。ぴーちゃんねっとで119番、岩泉消防署対応できないか。もしくは22-3456で。	緊急出動等の部分で何かネックがあるのかもしれない。持ち帰り当局へ確認する。できない場合も、理由を付け報告する。	広域での対応であり、個別消防署での対応はできない旨を確認しました。

令和5年度議員と語る会 質疑提言等要約一覧

小川地区：1月23日開催(No.2)

No.	質問・提言等	その場の回答等	語る会終了後の対応 (回答)
8	防災行政無線、アナログ令和6年11月末で停波。各地区にアナログの簡易無線使って再配信している。どうするのか。	町でも検討している。代替、あるいはぴーちゃんねっと活用かなど議会でも話はしている。随時確認しながらお伝えしていく。	防災行政無線の再整備等を行わないことを確認しました。
9	廃校舎活用を。地域に貸すメリットは少ない（お金がない）と思うが、広域的な考え方で地域で有効に活用できないか。冬期間の一人暮らし高齢者生活など。	検討し、活用している。振興協議会、地域としてもアイデアを町に上げていただきたい。行政・議会も、使って活用してほしいという思いは一緒である。	利活用に対し募集を行っています。

No.	質問・提言等	その場の回答等	語る会終了後の対応 (回答)
1	防災士に組織をつくってほしい。大雨や大雪など災害が多い。	防災士は、約200人。防災士の組織はあるが、思うように機能していない実情。当局でも会議は重ねている様子。各自治会に必ず1人はいるという町長の基本構想。こういった声に対し、引き続き町のほうにも働きかけていく。	防災士連絡協議会をすでに設置済みです。
2	生徒が減り閉校した校舎を何とか利用できないか。思い切った貸したらいいのでは。	担当課で進めており、議員も提案したりもしている。	利活用に対し募集を行っています。
3	大沢に入り2km弱に難所の坂道がある。道の途中で20kg位の岩がごろごろ転がってくる。対策なく、パトロールも降りて見るなどしない。石をよけて通っているようで早い。金網の防護ネット脇がぼんぼん崩れ、毎日冷や冷やしている。	配慮が足りないところがある。崩れる箇所に古いガードレールを置くなど工夫が必要かと思う。地域整備課に伝える。産業常任委員会で現場を確認し、担当課に確認しながら動くようにやっていきたいと思う。	地域整備課に申し入れました。 おって、現地確認を行います。
4	関連：岩が崩れて自分の車に当たったら、車の補償問題は、運が悪かったで終わってしまうのか。	道路管理上の原因であれば、管理者（町道であれば町）がやることになると思う。現場写真を撮るなど、後でわかるようにしておく。	/
5	ずっと上って行って3本に道路が分かれる一番左の鼠入線に行く頂上付近、一番角右が空いていて、土のう4、5個やっても崩れてくる。自分で動かせる石はどかしているが、道路管理をもう少しみてほしい。生活道路1本しかない。	地域整備課に伝える。産業常任委員会で現場を確認し、担当課に確認しながら動くようにやっていきたいと思う。	地域整備課に申し入れました。 おって、現地確認を行います。
6	除雪、雪のほり方が雑。道が狭く迂回するようなところをまっすぐ両側に轍をつくり、車が鉢合わせたら何十mもバックする。最初の除雪は、待避場所になるところは丁寧やってもらいたい。	地域整備課に伝える。	地域整備課に申し入れました。
7	大川地区最大の課題は道路の遅れ。県要望もここ15年ぐらい毎年同じような回答だけ。いつ希望する道路になるのか見通しが見えない状況。議会として要望展開を。意見書を国、県に上げてほしい。	早急に調べて、前向きにぜひやりたいと思う。	書面のみならず、直接の要望・働きかけを実施しており、今後も継続していきます。

No.	質問・提言等	その場の回答等	語る会終了後の対応 (回答)
8	福祉政策、老人福祉について、町に充実を図ってほしい。救急搬送されたが入院にならず帰るよう言われた際、宮古のタクシー会社全部に電話したが、予約が必要と断られた。介護タクシー、車椅子やストレッチャー乗せるような車等があればいい。	第9期の介護保険事業計画案が議会に示された。このような声を拾い出し、住民の方々が大変困っていることなど伝えながら、話しかけていきたい。総合交通体系ということで、今の話も参考とし、きめ細かに各地区で必要なものとして伝えていきたいと思う。	急病の場合は救急車で対応。それ以外で、ストレッチャーを使用しなければならぬ方への対応は想定していないとのこと。関係者による検討を担当課に要請済みです。
9	介護施設入所中に一時帰宅で介護ベッドを借りると1万円以上かかる。施設入所のため介護保険適用外。制度はそうでも町で補助できないか。お年寄りを抱えている人がたくさんいると思うので、細かに現状把握をお願いしたい。	同上	介護保険制度内での対応となります。関係者による検討を担当課に要請済みです。
10	七滝のつり橋は、議会も通り着工目前で台風がきて延びた。復興まで我慢してきたが、ゼロベースからまた町にお願いしている。議員の監視機能でこれはいいものか。町は大川地区民全員を呼んで説明をしなければいけないのでは。議員に何とか協力してもらい、早期の着工をお願いしたい。	一般質問や毎年9月の決算議会などの度に発言するも進まない。振興協議会と一緒に町長に面会し要望。任期内にやるべきとの質問に厳しいと。議員の総意か、他の地域の希望は、管理は…などの答弁。地域から請願出れば、議会としてはどうするか出る。町長の意向を探りながら状況を見て進めていきたい。	経済観光交流課・政策推進課の今後の計画を注視。
11	七滝を中心とした観光を進めようと、構想・事業計画をつくり去年町長を訪問。他にもつり橋をほしいところがあり、七滝周辺環境整備を考えろと。議会中、議員に問われたが、その後の行動をどう考えたのか。地域に入って聞こうとならないのか。議員として地域振興に対する姿勢を見せてほしい。	秋に町長から「議会の総意か」と問いかけあった。造りたいのはやまやまだが、順番や必要性、重要性などある。問いの意図も分かるし、町長の仕事でもある。皆さんの熱い思いをもう一回一つの形にして、町にしっかりと要望するのも大事。町全体の議員として、しっかりと声を拾い町に届けていくことが大事。みんなで力を合わせていきたい。	経済観光交流課・政策推進課の今後の計画を注視。
12	七ヶ宿町を学校運営協議会で視察。人口1,300人規模だが移住政策に力を入れ、生徒の半数以上が移住者の子供。岩泉にそのまま当てはまるとは思わないが、出生数など本当に少なくなってきたからでなく、先進地事例をもっと強く進めるべき時期では。先を見通して取り組んでもらいたい。	住宅関連は、これまでに10回以上一般質問している。施策要望にも入れた。内容が本当にいいことであり、何とか実現するように頑張りたいと思う。	3月定例会で一般質問を行い、以下、答弁です。「各自治体で地理的条件や産業構造、経済的環境、地域社会の成り立ちなど、置かれた課題、環境に相違がある。町内在住者とのバランスを図る観点からも、慎重な検討が必要と考える。」

令和5年度議員と語る会 質疑提言等要約一覧

小本地区：1月25日開催（No.1）

No.	質問・提言等	その場の回答等	語る会終了後の対応 (回答)
1	部落の現状（高齢化、单身など）厳しい。地域の若者が活動しやすい環境づくりを。リーダーシップをとれる人材育成が必要。企業を巻き込んだ環境づくりが必要では。	若者の自主性に全て委ねていくのは難しい。地域活動など、集落支援員に類する形での運営など検討を重ねていく。人材育成は、環境の育成と併せ教育についても検討していく。企業の若者との交流、意見交換をして良い方向となるように進める。	
2	高齢者の足の確保（バス停まで遠い人も）。振興協議会や社協で車を持ち運営できないか。	カーシェアリングは宮古市でもスタート。振興協議会に全て持たせていくのはやり切れない側面も。補助もあるが負担感を抑えうまく地域の活動の一部にするよう研究。担当課と情報共有しながら検討を続ける。	地域に合った交通体系構築のため、調査研究を引続き行い、町へ提言していきます。
3	昨日、道の駅に宮城県丸森町（議会だより掲載）の車があった。目的は。	災害関連（被災者支援）の行政視察で来町。※丸森町：令和元年東日本台風で被災	
4	ナラ枯れを2～3年前から役場に切るようお願いし、去年切るとしたところワサビを植えている人から反対され切れなかった（かなり太い木。所有者、役場の了解は得ていた。切る時期が1カ月ずれたためか）。町道だがいつ根元から折れるかという状況。※現在、その木には頭上注意という札あり	現場を見て、担当課にどのようにするのか確認、対応する。	地域整備課に申し入れました。 おって、現地確認を行います。
5	去年ワサビ協力隊が役場に苗を注文したが1本も来なかった。（夏の高温でできなかった）苗を調達できず挫折しかかっているようだ。受け入れ態勢が足りないのでは。ナラ枯れのところを切って畑にする予定も切れず。何をするにも対応が後手後手である。サポートすべき。	夏の高温で苗を確保できなかった。初心者は種も確保できない。フォロー体制について担当課に確認、申し入れする。	農林水産課対応済みです。
6	御殿崎の遊歩道を再整備し活用してはどうか。潮風トレイルで来る人から鶉の巣～岩泉の整備が悪いと度々聞く。	御殿崎については再確認し、海辺地・観光名所として整備を図るかどうかが担当課に申し入れする。	費用対効果等から不可と考えます。

令和5年度議員と語る会 質疑提言等要約一覧

小本地区：1月25日開催（No.2）

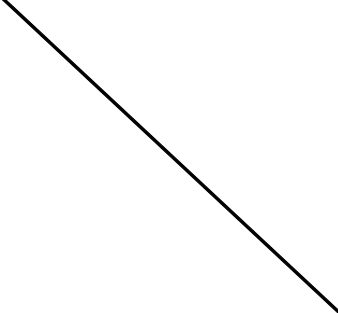
No.	質問・提言等	その場の回答等	語る会終了後の対応（回答）
7	沿岸地区（山田～久慈）の農協は新岩手1つだが、各市町村の支援内容に差がありすぎる。宮古管内等で同等の支援をしてほしい。 沿岸ブロッコリーは県内1位。小本地区では3人だけ。生産者・生産量を増やすため、もう少し支援し、若者の後押しをしてほしい。専業が減っている。	←各市町村の差とは。 （@飼料資材高騰への支援など。例えば、出荷する箱代を出しているところなど） 各市町村の支援内容を調査し、担当課にも確認しながら提案していけるよう努める。	農林水産課に申し入れました。JAと協議を持ちたいとの回答でした。
8	役場の庭に震度計があるため、岩泉町の震度が小さい。小本に震度計を設置できないか。	これまでも町に言っている。再度、早急に交渉してみる。	3月定例会で担当課に質問。設置のメリットが無い旨の回答でした。
9	避難場所が山や野原の箇所がある。建物など必要なとき国の補助が認められなければ、町で対応できないのか。喫緊の課題として、簡易トイレなど整備が必要。（訓練の際、子供がトイレに行きたくなり坂を下りて学校に行くとなった。）	現在、新たに指定避難場所を選定しているところで確定していない。国の補助の有無でなく「震災と同じことを繰り返してはいけない」=町と議会の共通認識。町単費でも対応すべきもの。場所の数が多く一気に整備とはならないが、一時避難場所として耐えうる整備をしていく。	現在、工事現場事務所のトイレを借りる事で対応。事務所撤去後の対策について、担当課で検討中です。
10	日本海溝の件。県と危機管理課から説明あった。もう一度県に来てもらい説明してほしい。（ハード面、ソフト面）	県の説明は、できるかどうか危機管理課につなぐ。	担当課に確認したところ実施の予定はないとのこと。
11	有線放送の数が足りない。龍泉洞の方で1、2本しかない地区ある。	有線放送は全町整備は途中で止めた。小本以外の他の地域は、支所がある中心地にある程度。前に整備したものを一部の集落でやっているところはあるが、他はぴーちゃん。	
12	能登半島地震への対応は。	職員1名派遣。輪島市へ20万円。その他の義援金（職員・議員等）準備中。	

No.	質問・提言等	その場の回答等	語る会終了後の対応（回答）
1	<p>地元安家に小学校がなく、小学校を自由に使わせてほしい。（テレビモニター等までも、全部無くしてから貸す。）</p>	<p>安家小だけでなく、どの学校も自由にといい願があると思う。管理体制がきちんとされれば叶うことと思う。既に申入れをしている。地域でも自由に使える場合に内容、管理、経費などどうするか等を話し合っていていただくと、前に進みやすいと思う。</p>	<p>随時、申請して使用可能。通年使用する場合は、管理も含めた形で検討するとのこと。</p>
2	<p>タクシーバスは家の前から家まで、そして安く久慈とか岩泉に輸送してほしい。デマンドは安家のようなところで適用できない。町内を空バスが随分動いている。これにお金を出すなら、安家にもっとください。</p>	<p>ようやくデマンド交通が走るようになったが、安家地区内だけ。望みは岩泉や久慈方面。議会で何度か質問したが、そこまで至っていないのが現状。 宮古市田代地区では、カーシェアリングが進み、視察も検討していかねばと思っている。粘り強く要望していきたい。</p>	<p>デマンドタクシー含め、公共交通対策は各方面で行なっています。地域に合った交通体系構築のため、調査研究を引続き行い、町へ提言していきます。</p>
3	<p>台風10号災害復旧は終わっていない。放牧地につながる町の農林課管理の道路は工事が手つかずのところがある。仮復旧しただけ。毎年雨が降れば壊され、また仮復旧。担当者は予算がなくてできないと。災害が起きたら議員は複数で、すぐ町内を回り状態確認しなければならない。</p>		<p>5月23日に産業常任委員会で現地確認を行いました。</p>
4	<p>10号台風の後残りまだ。役場は今予算がないと。小屋を道路の上のほうに建てたかったが「元あった流出された場所でなければ補助出せない」と。そんな指導の仕方もあるか。もう少しこうやってくれないかと頼んでも、やってもられない。</p>		<p>地域整備課で春以降対応します。</p>
5	<p>協力隊や移住者などは、龍泉洞の宣伝ばかりしても来ない。住みやすさや、結婚して子育てしやすい対策を。</p>		<p>住宅の斡旋や各種相談には適切に対応。定住に繋がるよう、きめ細かな対応をお願いしています。</p>

No.	質問・提言等	その場の回答等	語る会終了後の対応 (回答)
6	<p>放牧地の道路は明らかに仮復旧で7年、8年も経つ。家畜農家は高齢化で飼養家畜も減。せめて維持でもと頑張っている人たちに、道路や水など、あまり心配や苦しさをさせないで、春になったら上げ、秋になったら下げられるような道路を造ってほしい。現場に足を運ばないと見えず分からない。こちらからも言わなければ、何ともなくやってると思っているのではないかなと非常に心配している。</p>	<p>安家同様に、大川、釜津田の放牧地もそのような状況。雨が降るたびに道路が流され、本当に大変な思いをしている。簡易的でもよいから、ある程度降っても流されない道路をと担当に言っている。道路を掘って水切りし、ゴムマットを斜めにやって流してはと提案。予算もあり、どの生産組合も一気にとはできないと思う。随時やっていく方向には言っている。</p>	<p>5月23日に産業常任委員会で現地確認を行いました。</p>
7	<p>国道に通じる道路は北上山系事業で、昭和58年から60年ぐらいにかけて造った道路。側溝などほとんど壊れて、維持管理がなされてこなかった。春になったら、議員に巡回して見てほしい。</p>	<p>ご意見、真摯に受け止め、春になったら、産業常任委員会でぜひ安家を含めて全部を見させていただきたいと思う。</p>	<p>現地（奥岩泉線）確認済み。地域整備課に申し入れました。</p>
8	<p>今年もクマで大変損害あったと思う。クマが見えたらすぐその場で撃てるような方法がないか。子熊を連れた親を捕まえたとき、子熊は殺せないと放したが、大きくなれば必ず戻ってくると思う。どんな場合も今後は全て駆除するような方法にしてもらえないか。</p>	<p>現在、クマは保護動物に指定、駆除には手続が必要。岩手、秋田、北海道の知事も、すぐ駆除できる体制を国に陳情。回答はまだ。できる体制になりそうとの情報ある。一般質問等で町に、被害を軽減するため駆除が必要、被害を被った人への補償等提言している。</p>	<p>国の動向（法改正）を注視。</p>
9	<p>水力発電は、松ヶ沢と元村に出るという話があり、3級河川になれば町で許可を出し、それを今度は部落に。町では話合いなどあったのか。元村から下は結局県との方で出すらしいが、今どのようになっているのか。 前に来た業者が変わり、松ヶ沢の上の方に上がったという話も出て、話が変わってきており、造るのに賛成しているのか、やるべきでないか。議員の考えは。</p>	<p>小本川と安家川が水力発電で業者が入ってきている。小本川は1か所が間違いなく進みそう。安家はまだ話だけのようでこれからどうなるか。生態系保全のため魚道をつけるべきとの話に、代わりに完全に堰堤を造ってしまって放流の協力費を出すというような話にも聞こえ、そこはどうかかなど。まだ判こを押す段階ではなく、これから説明も出てくると思う。情報が入ったら、お知らせする。</p>	<p>動きがあったら、情報共有します。</p>

No.	質問・提言等	その場の回答等	語る会終了後の対応(回答)
1	<p>高齢化が進み、遊休地や耕作放棄地が増。同時に野生のクマやシカが急増。これからの農業は。町全体の問題として、どのように考え進めていくか。</p>	<p>猟友会ハンターの協力が必須であり、新年度予算を強化し更に活動しやすくするよう話した。</p> <p>緩衝帯を設けたらクマが出なくなった事例あり、有効な対策。使えるならば森林環境税などを財源にして、各地区でできれば幾らか防げるのではと考えている。</p> <p>4年前に地消地産条例を制定。岩泉で消費するものは岩泉で作ろうということを進めていきたい。</p>	<p>農林水産課に確認し、提言します。</p>
2	<p>町民の意見は、各地区に入り耳で聞かなければ反映されない。それが議員の仕事。何を考え、望んでいるか聞き、町に提言して初めてまちづくりができる。</p> <p>部落総会など、何か声をかけ合う場があれば、地元の人とも相談できる。足を運んでもらいたい。</p>	<p>そのとおりと思う。足をなかなか運べないないが、有芸の情報を気にしながら、常に一緒にまちづくりを考えているつもりである。</p> <p>別地区でも、部落に入って膝を交え話したいという意見あった。議会改革の中で進めていきたい。</p>	
3	<p>語る会は、逆に議員から町民に聞きたいテーマを出し、それに対してどう考えるか意見集約、聞き取りするのもいいのではないか。</p>		<p>今後の参考とさせていただきます。</p>
4	<p>若者がいない。みんな県外に就職・学校に行く。人口減に対して、対策などあれば聞きたい。</p>	<p>基幹産業の1次産業を守り立てていくのは非常に重要だが、若者の主な受皿の2次・3次産業をどう守り立てていくかが鍵と考える。経営・企業支援を通じて、新しく何かをしたいという若い人たち、既存の事業者への経営サポートができるようなことを町で充実していければ、個人所得の向上や就業機会の拡大につながるのではと考えている。</p>	<p>あくまで個人の選択であり、どこまで踏み込んだ対策ができるかは検討。人口減対策として、あらゆる方面の施策の提案を一般質問等で行なっています。</p>
5	<p>協力隊など、ほかから来た人の応援が必要と聞こえるが、地元の人たちが残るようなことは考えていないか。</p>	<p>経営サポートは、既存の事業者への支援力も高まると思う。町の支援体制が充実すれば、帰ってくる場所、戻り仕事を増える機会が増えると思う。</p> <p>各所で外から来た人達だけ手厚く、地域で頑張っている人達にも手厚くしてほしいとの意見いただく。頑張ってもらえた町の事業者の方に還元されるべきものと認識。</p>	

No.	質問・提言等	その場の回答等	語る会終了後の対応(回答)
6	岩泉は給料に対してアパート代がすごく高く、それで残る人が少ないと思う。そこを何とかしてもらいたい。アパート経営者を集めて話をしては。	住宅補助が出る人たちの入るアパートの値段、5万円、6万円というところ。 町は、子育て応援住宅や町営住宅も、入居のハードルを下げることもしている。こういった提言等を聞き、議会から発信していくのも今回の目的の一つでもある。	町営住宅においては適正な家賃の設定や入居要件の緩和など、適時見直しを行いながら、より良い住環境の提供に努めています。 現状を踏まえ、大きな意味での住宅対策を、一般質問等で質しています。
7	町外に出て、宮古や盛岡に家を建てる人が多い。岩泉は高く宮古、盛岡のほうが安くていいと言う人もいる。町内で土地を売ってくれる人が譲り、安く、町内に残って家を建ててもらおう対策はないのか。	我々はアンテナを高く探して、相談されたら紹介すると。あとは、不動産屋さんを入れたりとかそこまでしかやれないが。そういう形で何とか進めれば町内の土地も購入ができるのではないかなというふうに思っている。	宅地造成など住宅提供をしています。
8	道の駅の裏のキャンプ場のところは河川敷が残ったが、サッカー場とか競技場があった場所はどのようなふうな展開になっているか。結局サッカー場とかになるのか、なくなるのか。	国の補助事業等を利用して整備予定で、国の決定待ち。整備するのをなるべく早くしたいという思いは、議会も当局、町も一緒。 検討を今担当課でも進めているといった状況。	6年度、整備されます。
9	道路が狭く、道に枝が出てさらに狭い。中には1車線でもセンターラインをまたいで走るような状態で大型は大変。地権者問題もあると思うが、県とも話をし、各支所まではいい道路に、岩泉の道路は立派だよと見せるようにしてもらいたい。(個人的要望)	当局と情報交換したいと思う。	要望済みです。
10	帰ってきて働いても賃金・給料安い。アパート高く、町営住宅もしっかり金を取る。住居費を安くする、教育費を減免するなど、給料を多くもらうのと遜色ない状況をつくる。町の経営者は高い給料を払えない現状。行政が応援して住みやすいまちにしていく必要がある。財源も少ないなら、議員の数や役員を減らすなど。	福祉的意味合いでこれまで住居・教育費は捉えられてきたが、ご指摘のとおり、若年層の実質可処分所得を増やすために、所得が変わらない中で使えるお金を増やすという目線での教育や住宅政策は必要と思う。議会からも具体的に提言している内容もあるが、改めてより具体的に提言していけるように考えたい。	可処分所得向上へ様々な提案をこれからも引き続き行います。

No.	質問・提言等	その場の回答等	語る会終了後の対応(回答)
11	<p>猟友会、ハンター少なく協力隊で募集しては。緩衝地は山だらけで何十町歩になり現実的でない。仕方なくフェンスを張り秋田犬を飼い、やっと被害がなくなった。個々で考えて今やっている。</p> <p>遊休地が多く、人がいなくてどうしようもないところに協力隊を募集し、高齢化社会の見守りなどもお願いするというようなことを現実的に考えていくべき。</p>	<p>町の資格取得支援等あり猟友会は70人弱。若者も入り、対応できるようになりつつある。</p> <p>遊休農地に協力隊は一部行われている部分ある。全産業を対象にできていない。1つずつ対象の領域・分野を増やせるよう進めていきたいと思う。</p> <p>協力隊の数人が、ジビエに取り組むならば移住定住を考えたこと。議会も町政へ取組を提言しており、今後も積極的に提言していきたい。</p>	<p>提言済みです。</p>
12	<p>飼料・資材の高騰は、あと1年続く見通し。1次産業を基幹産業と町が認識するならば、餌や肥料など資材高騰対策を継続してほしい。餌の方の安定基金が発動されて出ていたが、今年度は財源なく出ない。去年ある程度の養豚家が廃業。配合飼料を買って給与している酪農家は、非常に影響を受ける。昨年以上に対策費を打たないと、非常に厳しい。</p>	<p>12月補正で国の物価高対策に町独自を加え実施に。既に通知が届いているかと思う。牛と豚。クマのリンゴ被害も3月補正で何とか支援してもらえないかと思う。現状の声を聞いて、いろんな町の施策に、国・県で足りないところは町独自の施策を、その時々でやっていかなければならない、同じ考えである。</p>	<p>提言済みです。</p>
13	<p>畑の所有地に隣接する所有者不明の土地が結構ある。売り買いの対象外。災害など起これば、様々なことが想定される。活用できるならば取得し、農地拡大に活用したい。役場に一度問い合わせたが、現状どうしようもないと。議会で議論をまずしてほしい。</p>	<p>所有者の不明な土地、筆界未定は一旦、国土調査で町で全地区に入った。それでも決められないところがそのようになっている。担当と何回か話し合い、拾い出ししてから始めなければならないと思っている。個別に、また担当とも意見交換させていただきたい。</p>	
14	<p>肉牛は、明日にも転ぶかというような状態。有芸は山の中で広場、草地がない。小さい田んぼをたくさん借り手間がかかり、毎年機械代だけ払うような実態。草が不足し、公社でも足りず去年は民間から買って売ったとのこと。草地を見つけて作り、現状維持で作業させる、喜ばせ生き延ばせるような方向性を考えてほしい。</p>	<p>常任委員会でしっかりと共有して、町のほうにも話していく。</p>	<p>農林水産課に確認し、提言していきます。</p>